

質問書に対する回答

件名) 横浜新道 新保土ヶ谷 I C ~ 川上 I C 間付加車線工事

No.	質問箇所	質問事項	回 答
1	金抜設計書 (8頁) 番号95 支柱落下防止装置 及び 設計図【遮音壁・雑工】 1/53、9/53	支柱落下防止装置HS-U (夜) の項目について、設計図【遮音壁・雑工】1/53数量総括表 (1) には HS-U 42.8mとあり、設計図【遮音壁・雑工】9/53には支柱落下防止装置42.8mの範囲が示されております。42.8mの範囲に既設遮音壁が含まれておりますが、既設遮音壁部分はワイヤー用PLが設置済みであり、ワイヤーのみを通す作業と端末金具の設置が施工内容と考えてよろしいでしょうか。	ワイヤー及び端末金具の設置に加え、設計図【遮音壁・雑工】20/53の材料表に記載の材料の設置を含むものとお考えください。
2	共通仕様書18-3遮音壁工 設計図【遮音壁・雑工】 20/53	共通仕様書18-3-2種別 (2) に記載されている「支柱落下防止装置 HS-U」の区分内容は支柱壁高欄天端取付式とありますが、設計図【遮音壁・雑工】20/53支柱落下防止装置詳細図は、「支柱壁高欄背面取付型式 HS-B」ではないでしょうか。	共通仕様書18-3-2種別 (2) 支柱落下防止装置に記載のとおり、支柱壁高欄天端取付式とお考えください。
3	数量総括表	5/23の質問書に対する回答で、既設のコンクリート防護柵を撤去した跡の舗装復旧について、舗装復旧の仕様を示す図面番号と数量総括表における工種名称と該当数量を明示いただきましたが、5+300付近~6+19区間、6+350付近~6+450付近の中央分離帯撤去後の舗装復旧仕様が設計図書で確認できません。ご教示ください。	5+300付近~6+19区間、6+350付近~6+450付近の中央分離帯防護柵箇所については、舗装復旧は想定していません。なお、舗装復旧については現地状況を確認のうえ、監督員と別途協議します。